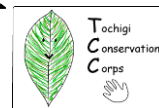


NPO法人トチギ環境未来基地主催

# 親子キャンプ in 芳賀の森 報告書



平成 24 年 9 月 15 日（土）～16 日（日）

9 月 15 日（土）～16 日（日）、栃木県に避難されている家族を対象に、『親子キャンプ in 芳賀の森』を実施しました。

東日本大震災から一年半が経ち、まだ今も慣れない環境や不安定な状況の中で生活されている方が多くいらっしゃる中で、子どもたちは思いっきり外で遊び、大人の方も自然の中でリフレッシュしていただく機会をと思い、親子キャンプを実施しました。

日程 : 9 月 15 日（土）～16 日（日）（2 泊 3 日週末プログラム）

参加者 : 9 名 大人 4 名、子ども 5 名

活動場所 : 芳賀青年の家（栃木県芳賀郡益子町）

益子焼窯元共販センター（芳賀郡益子町）

大瀬観光やな 川の駅（芳賀郡茂木町）

空とぶモニョンゴロ村（芳賀郡市貝町）

主催 : NPO 法人トチギ環境未来基地



この活動は平成 24 年度日韓共同募金会 東日本大震災救援プロジェクト  
栃木県内被災者支援活動助成事業の助成を受け、実施しました。

## 1日目 9月15日(土)

時間	内容
14:00	芳賀青年の家集合
14:00~14:30	オリエンテーション
14:30~	那珂川へ移動
15:00~16:40	川遊び@大瀬観光やな
16:40~	モニョンゴロ村へ移動
17:20~	夕食作り&薪風呂
20:00	夕食
21:00~	青年の家へ移動
22:00	フリータイム 就寝



### キャンプの様子(1日目)

最初の頃は、参加者のみなさん少し緊張している様子でもありましたが、参加者同士で話したり、子どもたちも遊び始めたりすると、すぐに打ち解けて話をしたりしていました。

川遊びでは、子どもたちはとても楽しそうに遊んでいたのと、お母さんお父さんたちも子どもたちと一緒に川遊びを楽しんでくれていたようでした。

モニョンゴロ村では、夕食作りと薪風呂が同時進行で進みましたが、子ども達は子ども達で遊び、お母さん達の協力もあり、ご飯作りはとても順調に進みました。薪風呂も、普段家族みなでお風呂に入ることはないそうで、一緒に入れてとても楽しかったとおっしゃっていました。

夕食時も、参加者同士やかかしさんとも、色々なお話ができたようで、親御さんたちも楽しい時間を過ごしていただけていたようでよかったです。

青年の家に帰った後は、子どもたちはまだ元気で、一緒におかしを食べたり遊んだりしてから就寝していたようでした。一日目は天気も良く、子どもたちも思いっきり遊んでいたようでした。

## 2日目 9月16日(日)

時間	内容
6:30	起床
6:50～7:05	清掃
7:30	朝食、宿泊室清掃
8:30～9:00	散歩(西明寺)&体操
9:00～	益子焼共販センターへ移動 絵付け体験
10:30	青年の家へ戻り、昼食作り
12:00	昼食
	後片付け
14:00	青年の家退所、解散



### キャンプの様子(2日目)

2日目は清掃からのスタートでしたが、みなさん時間ぴったりに集合してくださり、時間通り青年の家の掃除をすることができました。朝食後は各自部屋の清掃や荷物整理など、時間の少ない中準備をお願いしましたが、お母さん方を中心にスムーズに片付けや掃除を進めることができました。

西明寺への散歩は、小さいお子さんも頑張って坂を登ったり、虫を見つけたりどングりを拾ったりしながら、ゆっくりと散歩しました。朝の散歩を入れたことで、少し急いで準備などお願いする形になりましたが、散歩に行くことでさわやかな気持ちにもなり、2日目はあまり動くプログラムではなかったのも、やはり散歩を入れて良かったかなと思いました。

散歩から帰ってきてからは、すぐに益子焼窯元共販センターに向かい絵付け体験でしたが、子どもたちよりも親御さん達の方が、熱中して楽しんでやっていました。逆に子どもたちには少し難しいかなとも思いましたが、嫌になることもなく、それぞれ思い思いの絵を書いて遊んでいました。

最後は野外炊飯で、焼きそば作りです。男性陣は火起こし、女性陣は焼きそば担当、子どもたちは広場で遊びといった感じで、気付けばそれぞれ分かれていましたが、それはそれでとてもやり安く、良い分担ができていたように思いました。子どもたちは子どもたちで遊んでくれていた分、焼きそば作りの方はとても早く進み、野外炊飯は3時間とみて予定を組んでいたところ、最後時間に余裕ができたので、親御さんたちにはお茶タイムとして少し懇親会のような感じで過ごしていただき、子どもたちには、お母さんたちに『キャンプに連れてきてくれてありがとう』の木のプレートを作成してもらいました。

2日目の後半は少しゆっくりできたので良かったなと思いました。

## 参加者の声

- ・キャンプは初めてで、とても楽しみにしていた。
- ・昨年の夏は、栃木のことも分からずほとんど出かけなかったが、今年はこのキャンプを始め、色々なところに出かけられて良かった。
- ・普段は森の中で土に触れたり川で遊んだりすることはないのでとても楽しかった。
- ・普段家族全員でお風呂に入ることがないので、モニョンゴロ村の薪風呂にみんなで入れてとても良かった。
- ・栃木のことはほとんどわからないので、今回色々な場所に連れて行ってもらえたので良かった。
- ・他の避難者の方がどこで何をしているのか全く分からなかったが、色々な情報が知れたし、参加者同士で話すことができて良かった。

## 全体を通して

2日間を通して、全体的にはプログラムは丁度良かったなという感じでした。参加者の年齢や男女比によって、プログラムも変えたり変わってきたりするのですが、今回はうまくマッチングしたようで、参加者の保護者の方も子どもたちも、楽しんで頂けたようで、なによりでした。小さいお子さんの割合（小学校低学年以下）が多かった中で、やはり親御さんたちのご協力があったからこそできた部分が多かったように思います。この二日間で、普段よりも少しでもリラックスして、参加者の方同士で話をしたり、自然の中でゆったりとした時間を過ごしていただけていたなら、このキャンプの意味や成果はあったかなと思います。

3.11の震災から1年半が経ち、震災のことや避難者の現状や思いなどへの関心が薄れ始めたり、支援の手段方法などが改めて考え直されてきているなか、やはり“まだまだ震災は終わっていない”、“支援は必要だ”という風に強く感じました。津波の来た地域の瓦礫撤去はほとんど終わり、もうボランティアも必要ないのように思われがちですが、本当の支援はまだこれからだと、そしてこれから将来いかに被災者の方たちを支えていくことができるか、いかに被災者の方たちと生活を共にしていくかが、最も重要なのではないかと思います。3.11の震災を、誰も忘れることはないと思います。忘れることがないからこそ、一人ひとりがしっかりと向きあい、できることをできる範囲で行っていくことが大切なのではないかと感じました。

親子キャンプ in 芳賀の森 報告書

編集/発行 トチギ環境未来基地 事務局

〒321-4104

栃木県芳賀郡益子町大沢 2584-1 明在庵内

電話/FAX 0285(81)5373

E-mail [tochigi@conservation-corps.jp](mailto:tochigi@conservation-corps.jp)

URL <http://conservation-corps.jp/tochigi/>